

## アジア国際法学会日本協会 研究大会

## 「試されるアジアと国際法」

今日のアジアは、いずれの分野においてもかつてないほど困難な国際法上の課題に直面している。それはアジアが元来多様である上に、世界的な発展を遂げたことの証でもある。政治、経済、社会、文化における相互の関係が深化、拡大することで、ローカルな課題が、国境を越えて地域的にも、国際的にも複雑に絡みあい、これらを一層、複雑なものとしている。ビジネスのグローバル化、情報ネットワークの進展の中で、世界経済を牽引するまでになったアジアの目覚ましい成長に伴い、国際法や国際制度の成熟も期待されるようになってきている。アジアの地域的な枠組みの中で、国際法はこうした課題にどのように対処することができるだろうか。

**2018年7月1日（日） 9:30 ～ 18:20**

**早稲田大学早稲田キャンパス 14号館**

## プログラム

**9:30-11:15 Session 1: Plenary**

Keynote: Constructive Dialogue for Human Rights: Challenges to Committees, Committee Members, State Parties, and Other Stakeholders

**11:30-13:00 Session 2: Three Concurrent Panels**

Panel I: 米国法の域外適用にともない日本の弁護士が迫られる対応

Panel II: The Future of Regional Economic Agreements

Panel III: International Law in the Past, Present and Future

**13:30-14:30 ランチョン・セミナー**

**15:00-16:30 Session 3: Three Concurrent Panels**

Panel I: Trying to Tame a Tiger?: East Asian Perspectives on the US Trade Policy under Trump Administration

Panel II: International Organizations from Asian Perspectives

Panel III: Sustainable Development and Law of the Sea

**16:45-18:20 Session 4: Plenary**

Filling Gaps in the Implementation of International Law

\* 本研究大会は、一部の日本語セッションを除き英語で行われます。

## 参加申込

本大会にはどなたでもご参加いただくことができます。詳細につきましては日本協会ウェブサイトをご確認ください。

<http://asiansil-jp.org/>